

**公園等における若者文化施策等と連携した施設整備に向けた
実証実験支援業務委託 仕様書**

1 履行期間

契約日から令和7年3月14日まで

2 履行場所

春日台公園（川崎市高津区千年 1149-1）

虹ヶ丘公園（川崎市麻生区虹ヶ丘 1 丁目 21-1）

3 業務目的

本市では地域特性に合わせた特色のある公園緑地の整備推進に向けて、若者文化施策等と連携した魅力ある施設の整備を検討している。

本業務は、春日台公園及び虹ヶ丘公園において、若者文化施策と連携した施設を設置する実証実験を行い、日常的に使用することができる常設の施設整備に向けて利用ニーズと設置条件を確認するものである。

4 開催概要

(1) スポーツ施設の設置

春日台公園及び虹ヶ丘公園において、バスケットゴールを設置し、利用頻度や利用状況を確認するとともに、近隣住民や公園管理者等から課題等を聞き取り、幅広くニーズや設置条件等を把握すること。設置の期間は令和6年6月から令和7年2月までの期間とし、詳細については監督員と協議の上決定すること。

また、スケートボード・BMX等についても、体験または施設設置の可能性の検討を行うこと。

(2) バスケットボール体験イベントの開催（各公園1回以上）

ア 体験イベントはバスケットボール教室など、設置したバスケットゴールを活用し、かつ競技の魅力が伝わるような内容とすること。

イ 実施時期は、土日祝日のいずれかとすること。

ウ 講師等は、原則としてスポーツパートナー等の本市に縁のある団体等とすること。

エ イベントへの参加は無料とすること。

5 業務内容

(1) 全体の統括

本業務の実施にあたっては、現場責任者を定め、実施計画書、作業表、日程表等を提出し、情報を一元管理の上、当該事業が円滑に進行するよう、本市と協議のうえ、適正に運営管理すること。

(2) 事前準備

ア 公園管理者からの意見や、提案会において受託者が提案した内容等を踏まえ、施設内

容及びイベントの実施内容を計画し、監督員と協議の上決定すること。

イ 実施に向けて関係者との調整及び地域住民への周知を行うこと。

ウ イベントの企画、及び広報を実施すること。

エ イベントの円滑な実施に向けて必要なスタッフを手配すること。

オ 講師等への謝礼支払い、お弁当の手配等、付随する業務全般を実施すること。

カ 実施に伴って必要な機材等を用意し、不足が無いようにすること。

キ イベント参加者等について、必要な保険に加入すること。

ク 設置した施設の利用状況及び課題等の把握方法を計画し、監督員と協議の上決定すること。

(3) スポーツ施設の設置・管理

ア バスケットゴールはパンチングボードを使用し地面に固定できる構造とする。

イ バスケットゴールについては、1 基は川崎市が提供するゴールを使用し、もう 1 基は新たに購入し設置することを想定している。

ウ 川崎市が提供するゴールについては、幸区役所道路公園センター（川崎市幸区下平間 357 番地 3）に保管しているため、運搬、組み立て及び必要な補修を行い設置すること。

エ スポーツ施設が地域住民や公園利用者に受け入れられるようマナー啓発等を目的として、取組の目的や、利用ルールなどを記載した掲示物を現地に設置すること。

オ バスケットゴールのネット破損など、使用に伴い発生した施設の破損等について、速やかに修繕の対応をすること。

カ 施設の利用状況等に問題がある場合は、現地にマナー啓発のための看板設置やパトロールの実施などにより、問題の解決に向けて対応すること。

キ 周囲の道路や建物等にボールや利用者の飛び出しが危惧される場合は、仮設のフェンス等飛び出しの対策を講じること。

(4) イベント当日の運営等

ア 必要な会場の設置、撤去を行うこと（必要な機材等の準備、運搬を含む）。

イ 設置物の転倒等、安全面に十分注意するとともに、緊急時の動線を確保すること。

ウ 円滑に実施されるよう、適正に運営管理すること。

エ アンケート調査を実施すること。

オ 記録用写真の撮影を行うこと。

(5) 利用状況や課題等の把握

ア 現地調査や常設のアンケートなどにより、設置した施設の利用状況（利用者数と利用者の年齢層を含む。）や、利用者からのニーズ等を把握すること。

イ 地域住民や周辺施設の管理者等に確認し、施設設置に向けた課題を把握すること。

ウ 利用状況の確認方法として、クラウド型カメラを設置し、利用状況を把握できるようにすること。（遠隔操作及びクラウド保存動画にて確認できるものとする。）

(6) 実施後の検証及び報告等

ア 写真による各回の記録集を作成すること。

イ アンケート調査を踏まえたニーズや課題等を整理すること。

- ウ 今後の施設整備に向けた課題と方向性を提案すること。
- エ 実施結果等について、報告書を作成し報告すること。

6 成果物

本事業の受託者は、本業務の履行期限内に下記成果物を納品すること。

なお、履行期限に限らず、各種成果物は業務の進捗に合わせて随時提出すること。

(1) 写真によるイベント当日の記録集

イベント当日の様子を写真にて記録し、データ形式で納品すること。

(2) 実施報告書

下記の資料等について、データ形式及び紙媒体で納品すること。

ア 本業務を遂行するための打合せ資料及び摘録、その他調整経過が分かる資料

イ 本業務遂行時において作成した成果物（計画書や広報物等）

ウ アンケート調査の結果

エ 実施結果等を踏まえた今後に向けた提案

オ その他監督員が必要と認めるもの

7 業務の適正な実施に関する事項

(1) 業務の一括再委託の禁止

当事業の受託者は、受託者が行う業務を一括して第三者に委託し、又は請け負わせることはできない。ただし、業務を効率的に行う上で必要と認めるときは、本市と協議のうえ、その一部を委託することができる。

(2) 個人情報保護

業務に係る個人情報については、個人情報の保護に関する法律（平成 15 年法律第 57 号）等の本旨に従い、本市と十分に協議の上、適切に取り扱うこと。また、受託者が、委託業務の履行に伴い、又はこれに関連して知り得た業務上の情報を第三者に漏えいしないこと。

8 その他

- (1) 受託者は、施設の設置やイベントの実施手法や実施内容について適宜本市と協議を行い、協議結果を踏まえた上で各種業務等に着手すること。
- (2) 本市の所持する資料のうち、当該業務に必要な資料は別途貸与するが、丁寧に取扱い業務終了後は、速やかに返納すること。なお、貸与を受けた資料及び当該業務の成果は、許可なく外部に漏らしてはならない。
- (3) 受託者は、国及び本市の関連法規等を遵守すること。
- (4) 本業務に係る成果物等の著作権、所有権等の権利は、すべて本市に帰属するものとする。また、本市は、成果物等のすべてについて、業務に必要な範囲で改変し、または二次利用する権利を有するものとする。
- (5) 業務完了検査の結果、成果物に瑕疵が発見された場合は、受託者は、本市の指定する期間内に修正を行い、再度検査を受けること。

- (6) 自然災害や社会情勢等の変化により、実施内容等に変更が生じる場合や、中止となる場合には、本市と本件委託に係る事業の内容や契約金額等について再度協議を行い、変更契約等の手続を行うものとする。
- (7) この仕様書に定めのない事項、または不明な点がある場合は、本市の条例または規則に定めのある場合を除いて、その都度、受発注者間の協議で決定するものとする。